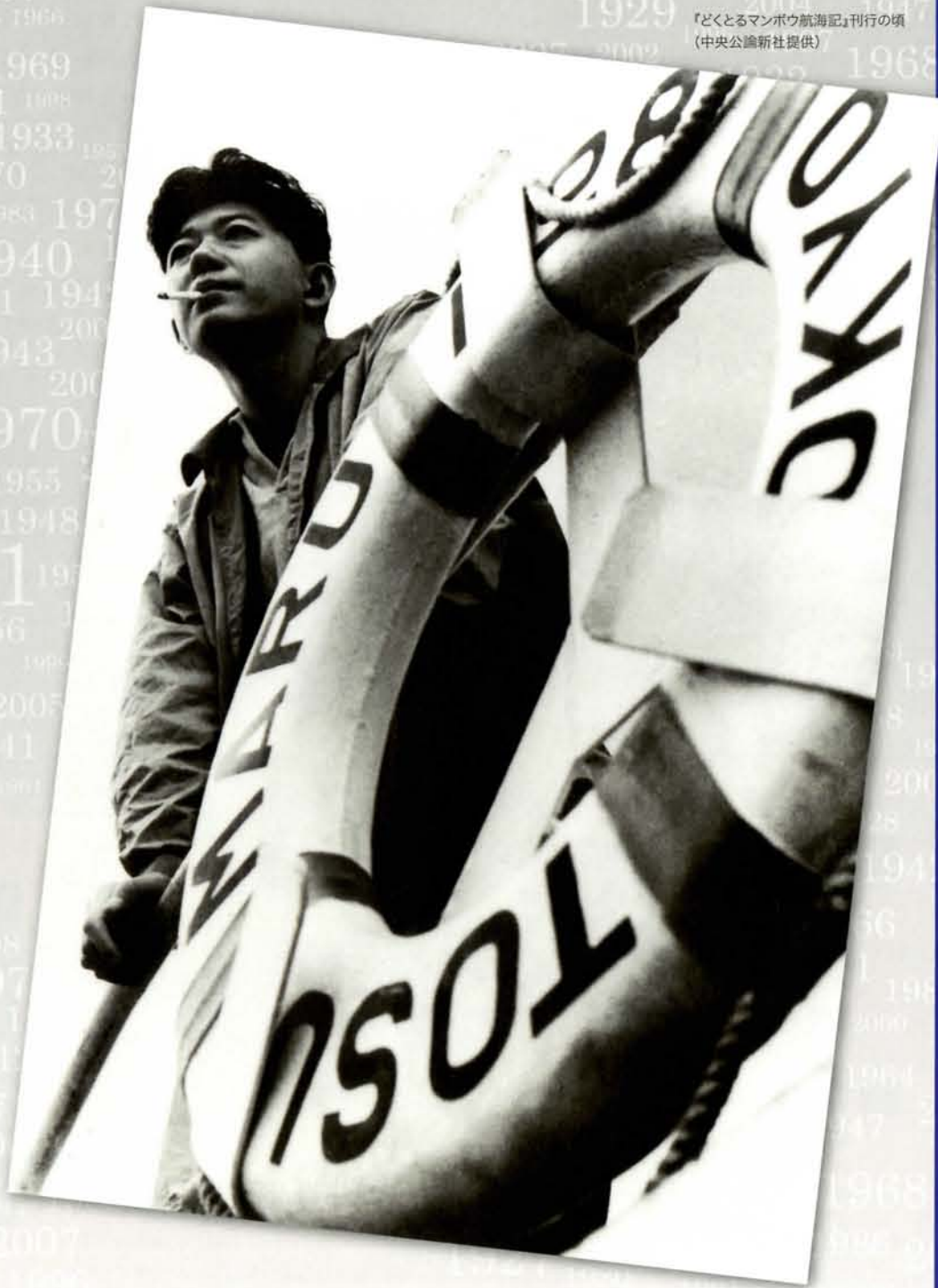


特別展

北杜夫

Kita Morio



『どくとるマンボウ航海記』刊行の頃
(中央公論新社提供)

— どくとるマンボウの生涯 —

The Life of Kita Morio - "Doctor Manbou"

2015年 **4月25日**[土] - **6月28日**[日]

休館日/月曜日(休日の場合は開館)、第4木曜日、4月30日、5月7日

開館時間/午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料/一般700円、高校生400円、小・中学生200円(10名以上の団体各100円引)



(公財) 仙台市民文化事業団
仙台文学館
〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
<http://www.sendai-lit.jp>

●主催/仙台文学館 ●共催/NHK 仙台放送局
●協力/世田谷文学館、学習院大学史料館、日本アンリ・ファール会、松本市立博物館分館 旧制高等学校記念館、東北大学史料館
●後援/朝日新聞仙台総局、河北新報社、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、TBC東北放送、仙台放送、サンテレビ、K+43東北日本放送、共同通信社仙台支社、時事通信社仙台支社、Data fm

『検家の人びと』や『どくとるマンボウ』シリーズなどユーモアあふれる作品を多数残した小説家、北杜夫(1927~2011)。北は、厳格な父・斎藤茂吉に課された医者への道を歩みながら、小説を執筆しました。そのようにして書かれた『幽霊』や『夜と霧の間』といった初期の文学作品は、その文体やテーマ、想像力などの点で、読者から高い評価を得ており、現役の作家にも深い影響を与えています。

また、躁うつ病を抱えながらも失われることのなかった人間としての魅力は、エッセイや対談を通して今も多くの読者を楽しませてくれます。「ユーモア」「笑い」という要素があまり重視されてこなかった日本の文壇において、北杜夫は、異彩を放ち続けました。

展示では、直筆の原稿や創作ノート、日記、絵画などをエピソードとともに紹介し、その独創性と優れたユーモアの感覚に迫ります。そして北杜夫が小説家としてのキャリアを歩み始めた、東北大学・仙台時代の足取りもたどります。



東北大学医学部時代の日記

イベント

1 小池光ことばのセッションvol.9「斎藤由香さんを迎えて」

- ゲスト:斎藤由香(エッセイスト、北杜夫・長女)
- 日時:5月23日(土)13:30~15:00
- 会場:仙台文学館講習室
- 定員:100名(抽選)
- 締切:5月8日(金)*特別展観覧券の半券が必要です。

*終了後サイン会を予定しています。



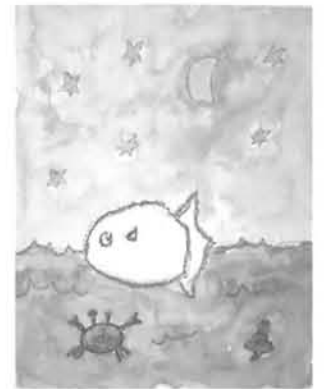
原稿『幽霊』第二章

2 講演会「思い出の中の北杜夫さん」

- 日時:5月16日(土)13:30~15:00
- 講師:宮田穂栄(エッセイスト・文芸誌「海」元編集長)
- 会場:仙台文学館講習室
- 定員:100名(抽選)
- 締切:4月28日(火)*特別展観覧券の半券が必要です。

3 講演会「僕が『どくとるマンボウ』だった、あの頃」

- 日時:6月7日(日)13:30~15:00
- 講師:石原千秋(早稲田大学教授)
- 会場:仙台文学館講習室
- 定員:100名(抽選)
- 締切:5月15日(金)*特別展観覧券の半券が必要です。



水彩画「マンボウ」

1から3の申込み方法

往復はがきに住所・名前・電話番号(あればFAXも)・イベント名ご記入の上、仙台文学館へ(1枚につき1名の申込み)。締切必着。申込多数の場合は抽選。

4 リーディング『どくとるマンボウ青春記』より(抜粋)

- 日時:5月10日(日)、6月13日(土)いずれも13:30~
- 出演者:斎木良太(俳優)
- 会場:仙台文学館企画展示室
- 定員:各30名(先着)*特別展観覧券が必要です。

4の申込み方法

電話・FAXのいずれかで、仙台文学館へ(FAXの場合は、名前・電話番号・希望の日時を明記してください)。定員になり次第受付を終了します。

学芸員による展示解説

- 日時:5月2日(土)、5月17日(日)、6月20日(土) いずれも13:30~14:30
- 会場:仙台文学館講習室/企画展示室 申込不要。特別展観覧券が必要です。

交通のご案内

バス利用の場合
(宮城交通バス)
仙台駅西口バスプール(複合商業施設「EDEN(エデン)」)
旧・仙台ホテル前120、21、22番乗り場・北部田地方面行(急行・北山トンネル経由を除く)
(市営バス)
仙台駅西口バスプール(複合商業施設「EDEN(エデン)」)
旧・仙台ホテル前123番乗り場・地下鉄八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車

地下鉄利用の場合
台原駅下車 徒歩20分
(台原森林公園内あかまつの道経由)

駐車場40台(無料)
台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。



(公財) 仙台市民文化事業団
仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
<http://www.sendai-lit.jp>

仙台文学館 次回のご案内

こども文学館えほんのひろば
7月17日(金)~8月23日(日)

再生紙を使用しています。このチラシは「確かみ」としてリサイクルできます。